

八月八日、にぎやかに南部子どもまつり 南部近隣センター

「梁塵秘抄」はこう歌う。
遊びをせんとや生れけむ
戯れせんとや生れけん

遊びをせんとや生れけん
遊ぶ子供の声聞けば
我が身さへそゆるがるれ

遊びをせんとや生れけむ



遊女の歌とも老人の歌とも言う。遊ぶ子どももの声を聞いていると、私も一緒に踊り出したいなってくると…。八月八日の南部近隣センターで行われた南部子どもまつりには、夏休みの子どもたちがどっと集まつた。映画会に始まり、十いくつもの楽しみが繰り広げられた。茶の湯の作法を教わり、お菓子をいただき、抹茶を味わつた。紙トンボ、折り紙、クラフトパンチを一緒に作つた。料理室では寒天のフルーツポンチ作りも。日の丸弁当を持参し、戦時の食糧不足を教えられ、長崎で被爆した畠本淳子さんから平和の大切さを聞いた。

落語のおじさんと、掛け合いのように「寿下無」を唱える来年は小学生という女の子がいた。お母さんが子どもは暗記力が強いんですという。

我が家身さへそ・の老人には、感嘆続きの一 日だつた。

「梁塵秘抄」については裏面に注

末広クラブ・逆井漫歩109 平成19年9月

(右)寒天はできた。次は白玉粉の計量ですよ(左)(上から)クラフトパンチ、茶の湯体験、平和を学ぶ、南京玉すだれ

